

3-1 基本的なパラメータの解説

モックアップとは？

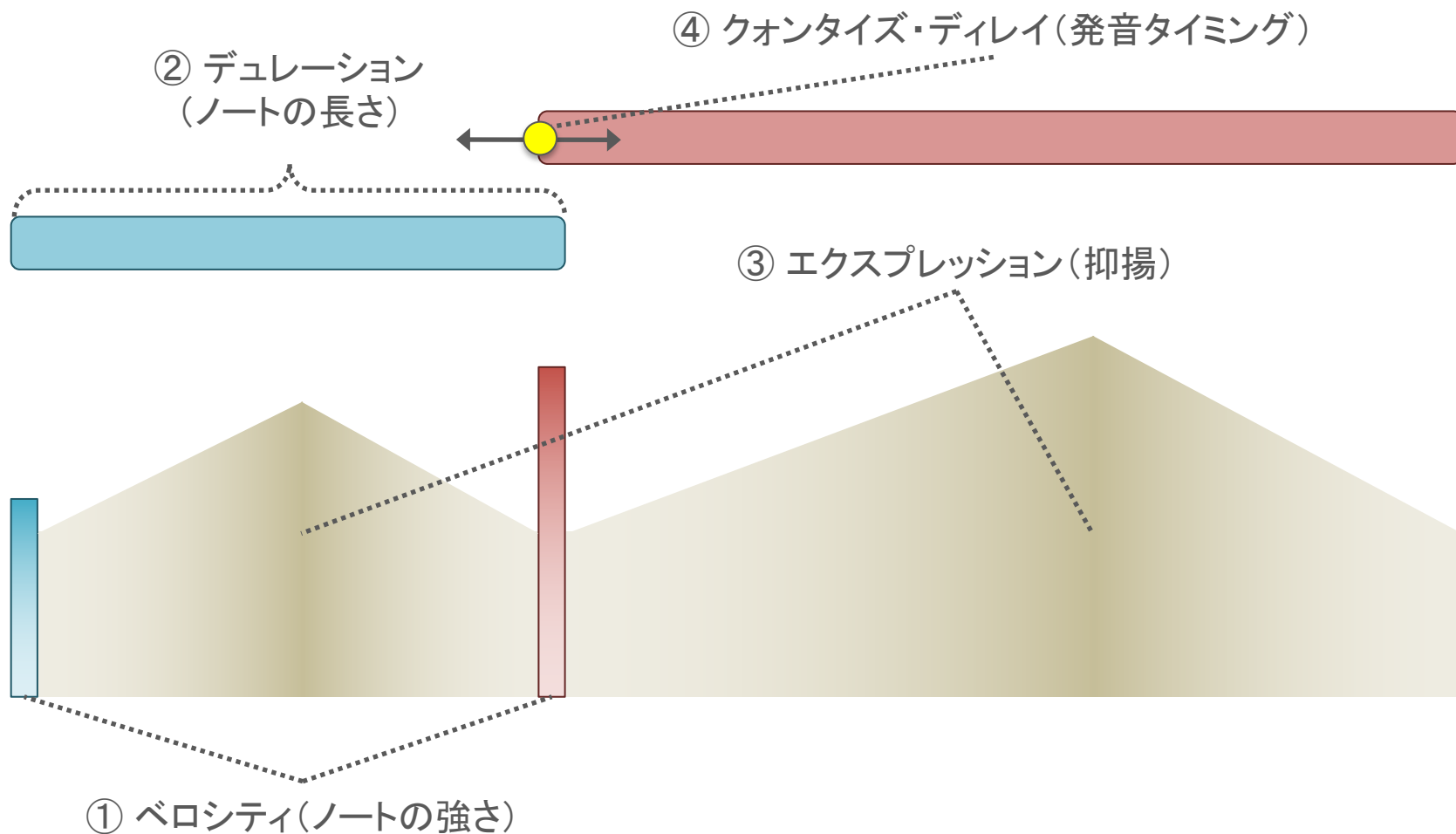
モックアップとは、ホンモノそっくりに作った模造品のこと。

打ち込みにおいては、生楽器を緻密に再現したリアルな打ち込みのことを指す。

ストリングスをはじめとした生楽器の再現には欠かすことのできない作業。

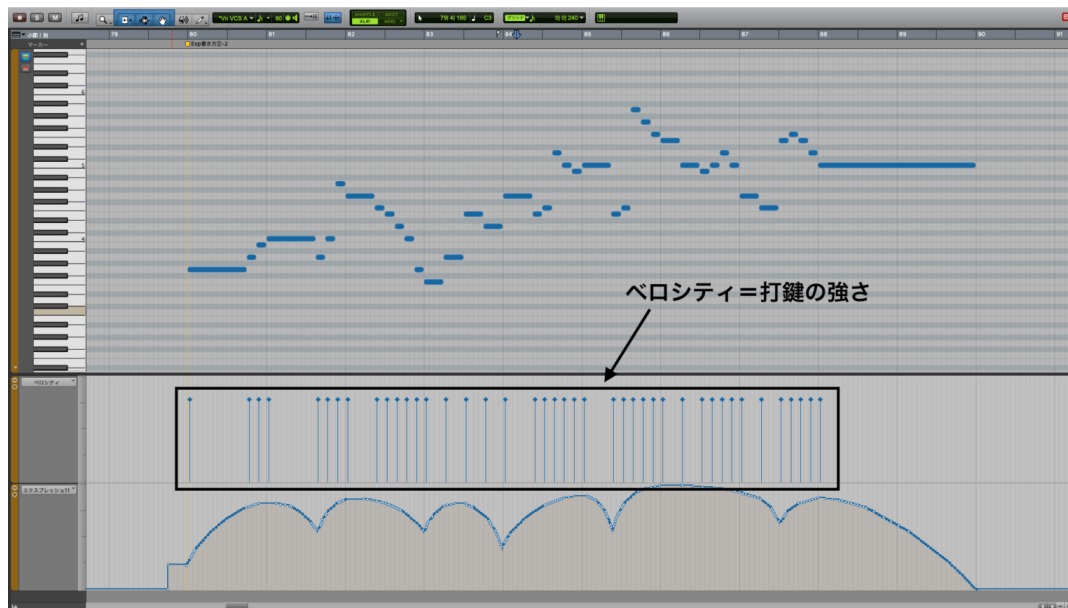
モックアップの技術を高めることで、打ち込みでもリアルなストリングスを鳴らすことができ、楽曲の完成度や聴き映えが劇的アップする。

基本的なパラメータの解説



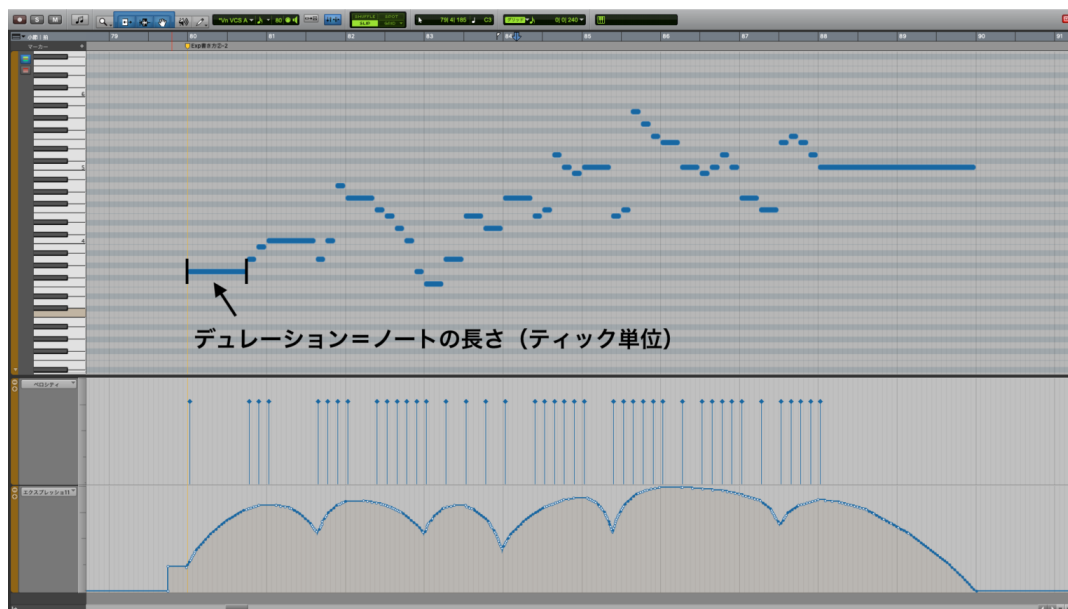
① ベロシティ

ノート(音)の強さのこと。(正確には「打鍵の速さ=強さ」)。ノート1音ごとに値が割り振られているため、コードなど複数音同時に演奏した際にも、個々の音に強弱をつけることができる。ピアノやドラムなどの打ち込みで欠かすことのできないパラメータ。



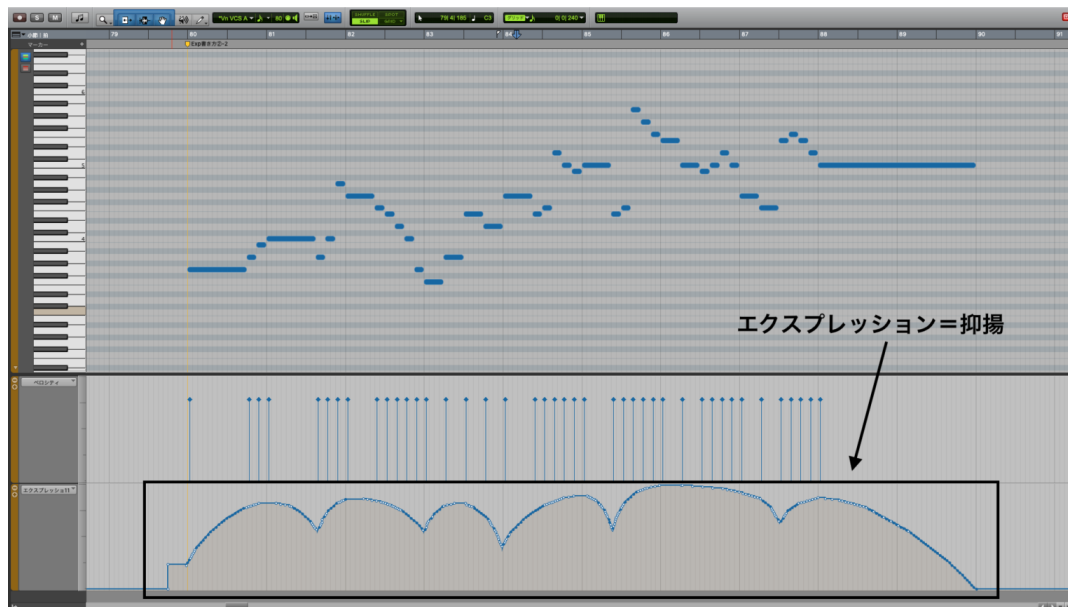
② デュレーション

ノート(音)の長さのこと。正確には、ノートオンからノートオフまでの長さを表すパラメータ。同じく音の長さを表す言葉に「音価」があるが、「音価」はあくまで楽譜上に書き表すことのできる音の長さであるのに対して、「デュレーション」は楽譜では表現しきれないような細かい長さを「ティック」単位で指定できるのが特徴。



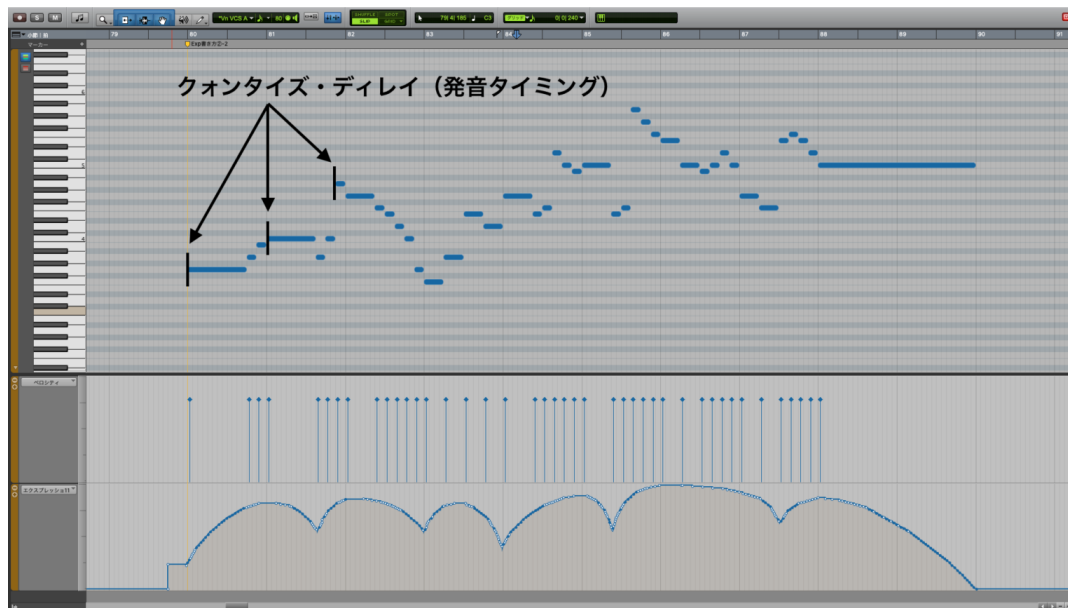
③ エクスプレッション

音の抑揚をコントロールするパラメータ。ベロシティとは違い、打鍵時のみならず発音中も断続的に音量をコントロールできるのが特徴。クレッシェンドやデクレッシェンドなど、発音中に音量をコントロールしたい場合は、原則としてエクスプレッションを使用する。(音源によってはモジュレーションホイールを使うことも。)



④ クォンタイズ・ディレイ

ノートの発音タイミングをさす言葉。DAWのグリッドにぴったり揃えるコマンドを「クォンタイズ」といい、グリッドから前後にずらすことを「ディレイ」という。「ディレイ」の値がプラス方向に大きくなるほど遅延が生まれ、逆にマイナスの値を入力すると前倒しされることを覚えておこう。



エディットすべきパラメータの選定方法

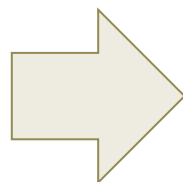
どのような場合にどのパラメータをエディットすると効果的なのかは、ノートの長さによってある程度判別できる。

- ロングノート系（レガート・スラー・トレモロ・トリルなど）
 - エクスプレッションとデュレーションを念入りに
- ショートノート系（スピッカート、マルカート、ピチカートなど）
 - ベロシティと発音タイミングを念入りに

ノート長別パラメータ選定方法

レガート・スラー、トレモロ、トリル等のロングノート系

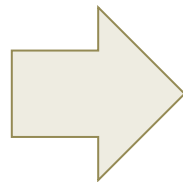
LONG NOTE



- ・強弱はエクスペッション(orモジュレーション)
- ・デュレーションのコントロールがキモ

スピッカート、マルカート、ピチカート等のショートノート系

SHORT NOTE



- ・音の強弱はベロシティ
- ・発音のタイミングのコントロールがキモ